



9月21日 例会スナップ



Rotary 東京池袋豊島東ロータリークラブ

3020回 第10回例会 2023.10/5

Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East

Weekly Report

会長:里見雅行 幹事:石塚文晴 RI会長:ゴードンR.マッキナリー 第2580地区ガバナー:栃木一夫

RI2023-2024年度テーマ

世界に希望を生み出そう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

【珠玉のこぼれ】

人間の存在意義は、その利用価値や有用性によるのではない
(神谷美恵子『生きがいについて』)

神谷は精神科医として、ハンセン病療養所長島愛生園に勤務し、その体験から独自の生きがい論を確立しました。人間の価値は経済力によって決まるものではありません。人間の存在価値は、生きていることそれ自体にあり、生きがいを見いだす努力をする必要があるのです。

本日の例会

10月5日(木) 12:30~13:30
卓話:「夜間中学とは何か」
卓話者:前川 喜平 様 現代教育行政研究会代表 (元文部科学事務次官)

10月例会 SAA 担当

司会者 鈴木孝雄会員
ニコニコ担当 吉田秀得会員
写真担当 野口昇兵会員
ソングリーダー 山本伸也会員



本日のゲスト 旧東京豊島東RC元会員 大野克美様

次回の例会

10月12日(木) 12:30~13:30
卓話:会員スピーチ

9月21日 例会報告

司会 吉田秀得会員
開会点鐘 里見会長
ロータリーソング
ソングリーダー 廣内会員

☆会員総数 35名
☆出席規定適用者数 27名
★本日の出席者総数 21名
★" 免除者出席数 4名
★本日の出席率 67.74%

☆本日のゲスト
田村 秀男様 卓話者/産経新聞特別記者・編集委員

大野 克美様 旧東京豊島東RC元会員

ニコニコ

佐藤美枝子会員 うちあわせ会あり。早退致します。

本日の合計額：3,000円
今年度ニコニコ累計額：141,000円

会長報告

1. 本日は「国際平和デー」
1981年に国連が「国際平和デー」を宣言「ロータリーの友」にマッキナリーR I会長メッセージが掲載されている。
私（マッキナリー会長）からのアドバイスは、大きく考えながら小さく始めること。
2020年、パキスタンのカルタルプール・サヒブ寺院でパキスタンとインドから約50人のロータリー会員が会合をもった。今年再度会合を持ち、参加者は2倍になった。
異なる文化圏の人たちとコミュニケーションを取り、特色を学ぶことが非常に大切だ。

幹事報告

なし

9月21日 卓話報告



卓話者 田村秀男様

日本経済は四半世紀以上もの間続いてきたデフレ局面から抜け出すチャンスだ。
エネルギー高騰に伴うコスト上昇を受けて、企

業は販売価格を一斉に上げ、売り上げを嵩上げしてきた。それに牽引される形で企業は賃上げに転じた。需要不振・物価下落・所得減・需要不振という悪循環が止まったのだ。

背景には、新型コロナウイルス・パンデミックの際の大規模な財政出動がある。飲食、宿泊、娯楽サービス業などでの人の足が止まっても、中小、零細企業は大半の雇用を維持することができた。需要の大幅な萎縮が避けられたのだ。そして、コロナ終結とともに景気回復にはずみがついた。

だが、脱デフレ確定とはいかない。外需は頭打ちだ。賃上げは物価上昇には追いついていないままだ。最も大事なものは、財政を引き締めないことだ。岸田文雄政権は増える税収を減税などで民間に還元し、国内需要の拡大基調を支えるべきである。

折しも、不動産バブル崩壊の中国ではデフレ圧力が高まっている。チャイナリスクをみた世界の投資家は日本に注目し、株価からすれば、日本はこの10年間で初めて中国を逆転した。国の安全は経済力に支えられる。岸田政権はこの機を逃してはならない。

蒟蒻問答

蘭学者杉田玄白に学ぶ (10月号)
南千住駅近くにある回向院は、千住骨ヶ原で刑死された者を弔うために、両国の回向院の別院として創建された。その境内に「観蔵記念碑」がある。
1771（明和8）年3月に、蘭学者の杉田玄白、前野良沢、中川淳庵らが刑死者の腑分け（解剖）に立ち会った。刑死者は青茶婆と呼ばれる当時50歳ばかりの老婦で、腑分けをしたのは90歳になるという老屠であった。玄白らが自ら腑分けをせずに、「観蔵」したのである。腑分けをすると『ターヘル=アナトミア』の解剖図と全く一致し、漢方医の語るころとは全く違った。帰途、興奮冷めやらぬ三人は『ターヘル=アナトミア』の翻訳を決意し、医学の発展に寄与することを誓った。翻訳の苦心談は、玄白が晩年に『蘭学事始』に記した。その中に「一滴の油これ広き池水内に点ずれば散じて満地に及ぶとや」とある。足掛け4年の歳月をかけて、日本の西洋医学発展の礎となる『解体新書』の翻訳を完成させたのである。

新しい学問に果敢に挑戦した先駆者たる玄白の学問への異常なまでの熱量に対し、私たちは学ぶべきものがあるであろう。このように何かに打ち込む気迫は、余人近寄り難いものがある。

(小泉博明)

10月お祝い

今月の誕生日 衣笠 傑会員
山本 伸也会員
廣内 世英会員
佐藤美枝子会員
小泉 博明会員
江辺 聡会員

池袋RAC 2023年2月活動報告

会長 岩崎龍賀
2月第一例会
鎌倉合同例会
2月11-12日 一泊二日
鎌倉市周辺
■出席者数：20名
(うち自クラブ会 8名出席、出席率 29%)

■例会内容
2月第一例会では、2780地区、鎌倉RAC合同で親睦例会を行いました。鎌倉中央RCの今井さんのご協力の下、ご自宅兼境内をお借りいただき、1日目ではBBQや市内の温泉に赴き、親睦を図りました。



2日目では境内の掃除や精進けんちん汁、鎌倉市内の観光名所をめぐり、地域の魅力や今井さんによる「最強参拝法」を学び、参加者は、像の前にそれぞれが想いを馳せました。鎌倉という地域を知って、その魅力や親睦を図る趣旨で行い、当初は泊まりということで事前の準備

や内容企画などで念入りに計画を立てた結果、例会ではスムーズに、滞りなく進行が出来たと、納得のいく例会となりました。

(報告者：岩崎)



2月第二例会
チーズ例会
2月18日(土) 18:00-19:30
現地開催
■出席者数：12名
(うち自クラブ会員 7名出席、出席率26%)

■例会内容
2月第二例会
チーズ例会と銘打っての例会を行いました。
チーズの輸入商社に勤務する豊澤が各種ナチュラルチーズを試食ありで提供するスタイルで行いました。
チーズ自体は食べることはあってもベビーチーズなどが主なことが多い方がほとんどで中々種類を意識しながら食べる機会はないと思うので、この機会に様々なチーズを食べるきっかけになればと思います。
こちらは次年度以降も職業奉仕の一環として、続けていければと思っております。
(報告：豊澤会員)